

## 【第2回】タスクフォース活動報告

タスクフォース名：医療・介護人材タスクフォース

会議開催日時：令和3年2月12日（金） 15時00分から17時10分

会場：本庁舎2階 小会議室

参加者：外山副市長、病院部局（看護師・事務などの職員2人）、市長部局（4人）、事務局（2人）

欠席：1人

### 会議の内容

- 前回の結果確認
- 介護人材確保対策の事業概要
- 特定看護師についての検討の方向性
- 地域包括ケアシステム構築推進のための多職種協働及び関連活動関係図（情報提供）

### 各委員からのご意見

- 介護人材確保対策の事業実施に際しては、取扱要綱などを整えた上で、市報やウェブサイト、介護事業者連絡会議、フェイスブック等を活用してPRを行った方がよい。
- ケアマネが不足しており、介護認定を受けても見つからず、プランを作ってもらえず困っている方が多くいる。市で居宅介護支援事業所を運営できないか。
- 特定看護師は今後必要である。看護師自体の確保、意欲的に資格取得ができるよう、また本人が資格取得できてよかったと思えるような環境を考えていきたい。院長、院長補佐にはその旨の話をした。院長には院内にも発信してもらいたいと話をしてきたところ。
- 特定看護師の資格取得の際、その人が周りから必要とされ、かつ本人がやりがいを感じてもらえるような環境にできるのか心配である。
- NP（診療看護師）などの資格を持った看護師が院内で居場所に困ることがある。市民病院内で組織として、どう取り扱っていくのかの取り決めなどを考えていくことが大切。
- 院内で特定看護師の検討が十分になされ、医師他院内での合意がとれて動き出せばよいが、難しいようなら、認定看護師にプラスして特定看護師の資格を取ってもらうような体制がよいのではないか。研修に行っている間、それなりの人材の確保も併せて必要である。

- キャリアパスがしっかりしている病院は看護師等の離職率が低い。介護職についても同じことが言えるのではないか。
- 看護施設が協力してキャリアパスを作るための連携はできないか。
- まちづくり推進タスクフォースの中で損保ジャパンと協力して事業を検討している。日本で一番介護施設を持っているのが損保ジャパンである。そういったところへ協力を要請してはどうか。

#### 今後の課題・対応

- 特定看護師の養成に関する補助要綱等を作成する。
- 介護ロボット（人材不足と省力化の融合）などの活用の事例を調査すること。
- ボランティアによる介護・福祉の人材確保についての情報を収集すること。
- 会議や検討ばかりするのではなく、課題を解決するための事業を実施できるように進めていくこと。